

東芝サークライン捕虫器

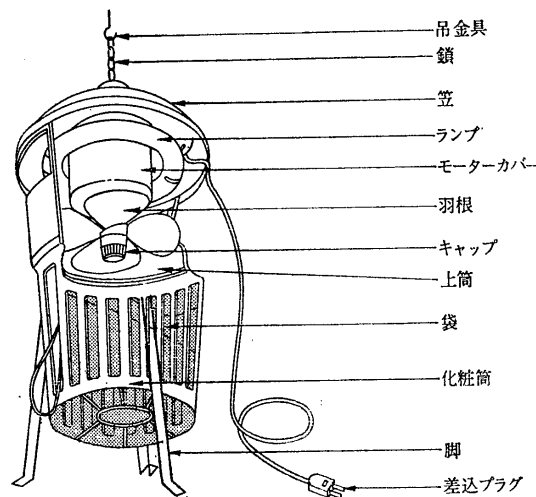
FCK-2005

取扱説明書

このたびは東芝サークライン捕虫器をお買上げいただきまして、ありがとうございました。

行届いた管理の下に作り、お手元にお届け致しましたが、万一不具合の点がございましたときには、お買上店にお申出てください。

定 格	100V 40.5W
寸 法	270mmφ×405
重 量	約 3.2kg
コ ー ド	1.5m
型式承認番号	▽ 91-1928 ▽ 91-1929



構造および各部の名称

◎サークライン捕虫器の設置場所と取り付け方法

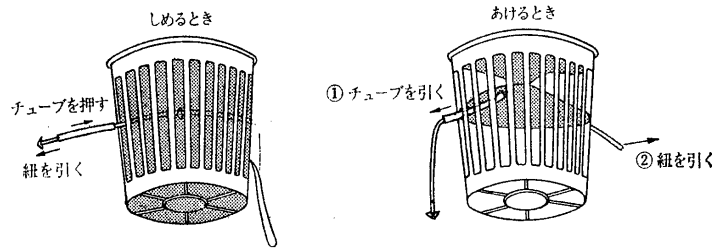
光が他の物体により、さえぎられない見とおしのよい場所を選び、ランプが地上より 1.5m~1.8m の高さになるような屋外や軒先に設置するのが理想的です。又、縁先などでもご使用になれます。

1. 吊下げとして使用する場合は、付属の吊金具を軒先のはりなどにねじこみ、鎖で高さを調節して使用してください。
2. 置き形として使用する場合は付属の脚を化粧筒に差しこみ使用してください。
取り付けにあたっては器具が傾かないように取り付けてください。

◎点 灯 と 消 灯

1. まず通電する前に点灯管、ランプがソケットに良く差し込まれていることを確かめてください。
2. 点灯時間は日没から夜半までが最も効果があります。差込プラグをコンセントに差し、通電するとランプが点灯し、羽根が回転をはじめます。
3. 消灯するときは、プラグを抜けばランプは消え、羽根の回転もとまります。このとき生きている虫が袋を這い上ることがありますから、袋の中間についている紐を引いて袋の口をしめてから消灯してください。(下図参照)

4. 点灯するときは、点灯後袋の中間についているもう一方の紐とチューブ袋をつまんでチューブを引いた後、紐を反対方向に引き、袋の口をあけてください。(下図参照)



◎虫の処理のしかた

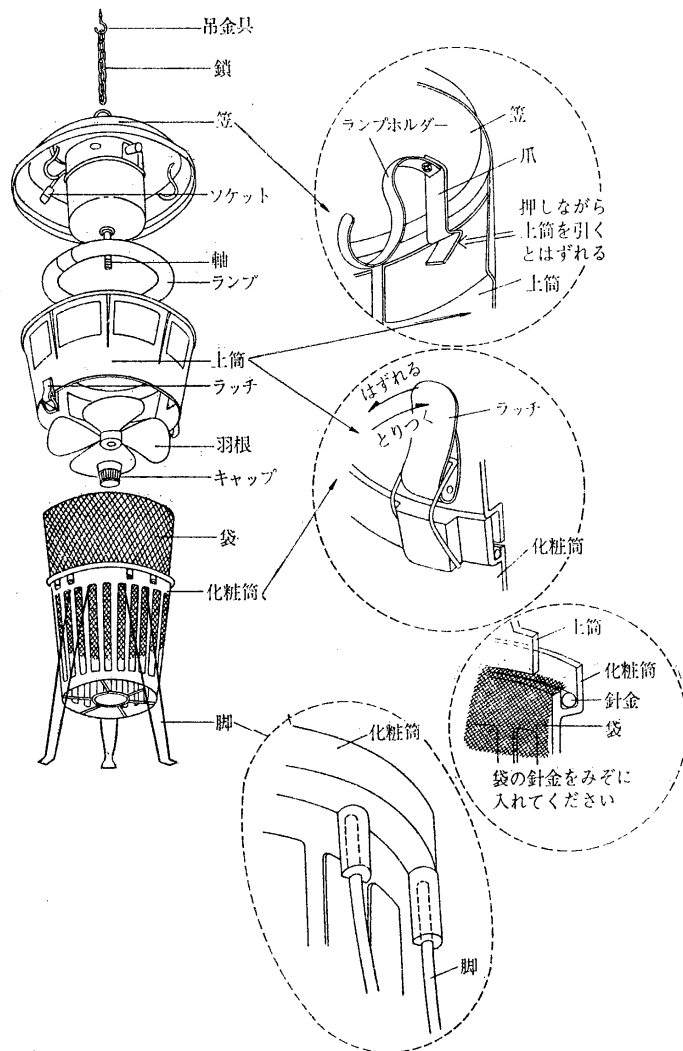
ラッチをゆるめると、袋が中に入ったまま下筒がはずれます。羽根が完全にとまってからこの化粧筒をはずし、袋を取り出して捕えた虫を処理します。生きた虫は袋のまま水を満した容器につけておけば死滅します。なお袋が破損した場合は予備の袋ととりかえてご使用ください。

◎ランプの交換と筒の着脱方法

通電していないことを確かめたのち

1. ラッチをゆるめて上筒から化粧筒をはずします。
2. キャップを時計方向（逆ネジ）にまわして羽根を軸から抜き取ります。
3. 笠内側の爪（3ヶ所）から上筒をはずします。
4. ランプよりソケットをはずします。
5. ランプをとり出します。

ランプの取り付けは上の逆の順序に行ってください。



◎ご 注 意

1. 製品は合成樹脂部品を多く使用しておりますので、殺虫剤やシンナーなどの薬品使用はさけてください。
2. 器具や袋が汚れたり、虫がたまったりときは、まめに掃除してください。掃除にはぬるま湯と石けんを使うときれいになります。
3. 雨水のかかる場所で使用する場合は、笠の内面の接地端子を接地にご使用ください。
4. 差込プラグには雨水などがかからぬようご注意ください。

Toshiba

東京芝浦電気株式会社・東芝商事株式会社